

日本青年会議所 建設部会 2018年度 副部会長 所信

副部会長（関東地区担当） 須藤 俊基

世界第3位の経済大国である日本が衣食住に恵まれていることは言うまでもありません。教育においても初等教育・中等教育合わせて9年間の義務教育を受けることができます。このような整った環境下で成人を迎えることができた我々は、自国を誇れる歴史観と確かな国家観をもって日本経済を最前線で支えてきた建設産業のさらなる発展に務めなければなりません。そのためには2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックによる建設需要を皮切りに建設産業の更なるイノベーションを起こしていく必要があると考えます。

まずは、部会員連携による建設産業の現状把握や最新技術、失敗例や成功例等の情報交換が必要です。そして、情熱を持った部会員同士によるビジネスネットワークを確立させることで人材不足の深刻化を未然に防ぎ、工期の遅れや建築費の高騰等のリスクマネジメントができるとともに各企業発展に繋がります。さらに、建設部会の魅力を一人でも多くの各地青年会議所メンバーに共感して頂き、志同じくする同志を増やします。

また、アベノミクスによる経済回復基調にある日本の建設産業はバブル期以来の海外不動産・建設技術投資が進んでいます。今後の建設産業の未来を創造する青年経済人である我々は、視野を広げるべく国外建設市場を今まで以上に学び、国内建設産業に活かさなくてはなりません。

そして、歴史的建造物が多く存在する日本の建設技術の素晴らしさを再認識し、国外建設市場を建設部会メンバー一人ひとりが今まで以上に見識を深めることで、建設関連多職種メンバーが集結している建設部会だからこそ、新たな発想が生まれ、高揚感を覚え、ひいては建設部会のさらなる発展に寄与し、建設産業のイノベーションを起こすことができると確信しております。